

ネットワークをクラウドのように構築

ドライブネッツは、通信サービスプロバイダーやクラウドプロバイダーがネットワークを構築するための根本的に新しい方法を生み出した、急成長中のソフトウェア企業です。ハイパースケーラーがクラウドインフラを構築するのと同じ方法で、ネットワークを分離分散します。

世界がソフトウェアやクラウドネイティブアーキテクチャに移行する一方で、ほとんどのネットワークは、複雑なモノリシックソフトウェアに基づくハードウェア主軸の世界にとどまっています。そのため、リソースの有効活用やサービスの拡張、革新的な経済モデルなどを可能にする新しいソフトウェア技術を活用できていません。

ドライブネッツ ネットワーク クラウドは、このような状況を一変させます。ソフトウェアベースのクラウドネイティブ・ネットワーキング・インフラストラクチャ・ソリューションは、革新的な経済モデルで、今日の市場で最も大きいキャパシティとスケールをサポートします。

- **ネットワーク市場をディスラプト(破壊)する** – クラウドネイティブソフトウェアに対応するネットワークは市場に20年もの発展をもたらします。
- **顧客での実証済み** – AT&T のコアネットワークの 52% 以上を提供し、100 社以上のティア1サービスプロバイダーやハイパースケーラーと様々なフェーズで取り組みを行っています。
- **新しい経済モデル** – IaaS (インフラストラクチャー・アズ・ア・サービス) モデルでネットワークサービスを提供。ホワイトボックス機器のクラスターでつくる共有インフラストラクチャ上で様々なネットワークサービスを提供します。
- **最適なスケーリング** – 単体のルーター (4 Tbps) から数百台のホワイトボックス機器で構成されるクラスター (768 Tbps) まで自在に拡張可能。
- **ティア1エコシステム** – チップメーカー、ホワイトボックスの ODM、オプティカル機器、ソフトウェア・アプリケーション・プロバイダーなどを含む、業界をリードするチャネル、ソリューション、ハードウェア、アプリケーションの取引先にサポートされています。

ドライブネッツの沿革

ドライブネッツは、通信事業者として成功したイド・スーザン (Ido Susan) とヒレル・コ布林スキー (Hillel Kobrinsky) の2人によって設立されました。ドライブネッツの最高経営責任者であるイド・スーザンは、かつて、SON (自己最適化ネットワーク) を発明したインチュセル社 (Intucell) の設立者でもあります。2013年、彼がまだ26歳のときに、4億7500万 USドルでシスコ (Cisco) に買収されました。買収後、Ido は Cisco のグローバルモビリティソリューションビジネスユニットで主要な役割を担い、2015年に DriveNets を共同設立するまで勤務していました。

ドライブネッツの共同創業者で、現在は最高戦略責任者のヒレル・コ布林スキーは、かつて、Web会議ソフトウェアの会社であるインターワイズ社 (Interwise) を創業しました。同社は2007年に AT&T に 1億2100万 USドルで買収されています。

ドライブネッツは、D2、ベッセマー・ベンチャー・パートナーズ (Bessemer Venture Partners)、ピタンゴ・ベンチャー・キャピタル (Pitango Venture Capital)、D1 キャピタル・パートナーズ (D1 Capital Partners)、アトレイデス・マネジメント (Atreides Management) および複数の個人投資家から、これまで3回のラウンドで5億8700万 USドルの資金を調達しています。

ドライブネッツの概要

- 設立: 2015年12月
- 本社: イスラエル
- ミッション: ネットワークをクラウドのように構築すること。ソフトウェアベースで、ディスアグリゲート(分離分散化)され、完全に仮想化され、標準的なホワイトボックス上で動作するネットワークを提供

資金調達

- 2019年ラウンドA、1億1700万USドル
- 2021年ラウンドB、2億800万USドル
- 2022年ラウンドC、2億6200万USドル

従来のシャーシから 分離分散型ソフトウェアベース ネットワーキングへ：ネットワーククラウド

ドライブネット ネットワーククラウドは、業界のいくつかのメーカーから発売されている標準的なネットワーク用ホワイトボックス上で動作する、クラウドネイティブソフトウェアをベースとした大規模スケール向けソリューションです。ネットワークの物理・運用モデルの簡素化、ライフサイクル管理の自動化、モノリシックなアーキテクチャからの脱却など、従来のハードウェア中心のルーターの限界を克服するものです。

ドライブネット ネットワーク クラウドは、ネットワークとコンピューティングリソースの完全な仮想化を独自にサポートし、通信サービスプロバイダーやクラウドプロバイダーが、従来のモノリシックルーターよりもはるかに効率よく、サービス需要の増大に対応することを可能にします。また、そのユニークな設計により、一つの物理的なネットワークインフラ上で遅延の敏感なサービスを含む複数のサービススライスをサポートし、より迅速なサービス革新を実現します。

ドライブネット ネットワーククラウドの構成は以下の通りです：

- **DNOS** – ドライブネット ネットワーク オペレーティングシステム (NOS) – 分離分散型 NOS で、分離分散型アーキテクチャ上に統合された共有インフラを構築し、コア、アグリゲーション、ピアリング、エッジ、アクセスルーティングなどあらゆるセグメントのサービス提供をサポートします。
- **DNOR** – ドライブネット ネットワーク オーケストレーター – ドライブネット ネットワーク クラウド ソリューションの展開、スケールリングと管理を自動化し、マルチベンダーのデスアグリゲーション型分散ネットワークのプロビジョニングと管理の複雑さを解消します。
- **ホワイトボックス** – マーチャントシリコンをベースにした標準的なネットワーク用ホワイトボックス (OCP DDC 準拠) であり、パケット転送用 (NCP) とファブリック用 (NCF) でクラスタを構成します

「我々はドライブネットをコアバックボーンで利用しています。我々は毎日590ペタバイトのトラフィックを運んでいます。そのためコアバックボーンには大量のトラフィックが発生します。すでに50%以上のトラフィックがオープンな分離分散型アーキテクチャで動作しており、ネットワーク オペレーティング システムはドライブネットです。」

イガル・エルバズ

AT&T社 ネットワークサービス最高技術責任者

お客様の声

AT&T は、ドライブネット ネットワーククラウドを自社のコアネットワークに導入し、現在、ドライブネットはコアネットワークのトラフィックの 52% 以上を担っており、米国最大のバックボーンとなっています。同様の展開事例として、すでに他のグローバルティア1事業者で運用されている例があります。さらに、ドライブネットは、北米、アジア、ヨーロッパにおける 100 社以上のティア1 事業者およびクラウドプロバイダーと協働し、コアバックボーン、アグリゲーション、エッジ、ピアリングなどの大規模プロジェクトに取り組んでいます。

業界からの評価



カンパニーオブ・ザ・イヤー (非上場) 2022年



年間最優秀賞製品 2021年



カンパニーオブ・ザ・イヤー (非上場) 2020年



Next-Gen Deployment Wireline



リサーチ: ホワイトボックスルーティング変革をもたらす破壊力

DRIVENETS

報道関係者お問い合わせ先 press@drivenets.com

販売に関するお問い合わせ先 info@drivenets.com

本社

4 Hasheizaf Street, Raanana, 4366411, Israel

日本ドライブネット株式会社

SPACES Otemachi - Otemachi Building
1-6-1 Otemachi Chiyoda-ku,
Tokyo 100-0004, Japan

www.drivenets.com